

<令和5年度 運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	一般社団法人横浜市都筑区医師会	事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム
所在地	(〒224-0015) 横浜市都筑区牛久保西 1-20-21		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

《当事業所のケアの理念》

利用者・ご家族の幸せの実現のために『その人の「生きる」を支える』 ～寄り添い・理解し・尊重する～ を目指しています。

《特色》

- ・平均要介護度 4.0 経管栄養注入や痰吸引など医療機器を使用している方やがんや非がんのターミナル期の看取りなど、医療ニーズの高い利用者の受け入れ
- ・介護と看護の連携を高めて、自立した専門職の育成を目指しています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 2 月 6 日	従業者等自己評価 実施人数	(20) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 8 日	出席人数 (合計)	(12) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (7) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (0) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (0) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2) 人 <input type="checkbox"/> その他 (0) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p><u>1</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看多機理念について面接時に個別につたえる ・事業所評価を全職員に伝達する。 ・看多機についての研修を実施する <p><u>3.4</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護と看多機看護の評価指標を検討し、統一する。 ・訪問介護と看多機介護の研修計画（目標設定）を統一する <p><u>10.</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は年2回以上、夜間を想定した訓練を実施する。 ・防災のBCPを完成する。 	<p><u>1</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看多機に求められていること、事業所の理念について研修を実施 <p><u>3.4</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の場合は着目したいケアについて、研修参加を計画しているが中長期的な育成計画はできていない。 <p><u>10.</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定した防火・防災訓練を実施 ・BCP作成し、研修を実施 	<p><u>1</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおよそできている」との評価。繰り返し職員への周知、浸透が必要 <p><u>3.4</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内外の研修に出席でき、動画研修の利用もできるようになった <p><u>10.</u>について</p> <p>日中訓練の際は消防の方をお呼びして消火訓練含めて実施。 夜間を想定した訓練を行うことができた。</p> <p>(運営推進会議コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業についての理念が職員に周知浸透しつつあり、ナーシングホームとしてのブランドを確立しつつある。 ・動画等も活用した効果的で効率的な研修機会の確保を引き続きお願いします。 ・BCPの作成及び研修の実施をしていただき、さらに夜間を想定した訓練も行っていただいたとのこと。引き続き訓練の継続的な実施をお願いします。 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</p>	<p><u>11～18</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の担当制を明確にして、担当者毎に計画立案を相談するシステムを構 	<p><u>11～18</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的開催される合同カンファレンスでそれぞれの意見を収集。 	<p><u>1～18</u>について</p>

<p>(評価項目 11～27)</p>	<p>築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職と看護職との合同カンファレンスを定期的開催する <p><u>12</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の資格取得研修、認知症実務者研修は、受講を促す。 ・看護師が介護職へ医療ケアについて研修会を開催する <p><u>27</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取りの研修会を実施する 	<p><u>12</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント実施にて、計画作成、手順書作成が行われ、両職種間でおおよそ共有されている <p><u>27</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝達講習会開催 ・利用者の看取りについての振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態やケアなどについて、ツールを使用してや合同カンファレンスにおいて情報共有されている。 ・医療ケアについての研修会を開催できなかったが、看護師からの的確な指示によって介護職が安心して行動できている <p><u>27</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族より安心して看取ることができたとの評価をもらうことができた。 <p>(運営推進会議コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看多機という医療介護の連携がはっきり見える施設として、専門的とは何かを考えるのが今までにない取り組みの施設である。同業とは比べられない難しさがあるが、他施設との交流も勉強会などいずれ良いかもしれない。 ・看取りの振り返りはとても良いことだと思う。・合同カンファレンスの場等を活用し、職員間の情報共有や連携がさらに進んでいくことを期待しています。
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p><u>31～33</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部との接触として運営推進会議に役職以外の職員を参加させる。 	<p><u>28</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院・退所前カンファレンスへの参加、退院後の情報共有の実施 <p><u>31</u>について</p> <p>事例紹介を実施し、情報提供や提案</p>	<p><u>28</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院・テレビ電話システム利用にて、退院前カンファレンス出席 ・退院後の状況について、病院担当者に電話もしくはファックス等で報告している <p><u>31</u>について</p>

				<p>運営会議にて、事例紹介し、サービス実施にあたり課題となっていることを話し情報提供を行い、課題となっていることを共有することができた。</p> <p>(運営推進会議コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への連絡は、遠慮なく行ってください。・運営推進会議において事例を紹介いただいたことで、日ごろの支援の様子を知ることができました。ありがとうございます。
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p><u>38</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1と同じ <p><u>41</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部に向けた研修会を開催する：ACPについて「もしバナゲーム」など ・研修会開催時に看多機の周知をする 	<p><u>33</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の実施 ・勉強会や演奏会を開催し、情報発信を行った。 <p><u>41</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 	<p><u>33</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚙下について勉強会開催し、近隣の住民やケアプラ職員の参加が得られた。 ・演奏会を開催し、ZOOM 使用し外部の方に見ていただいた。 <p>(運営推進会議コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加できず、残念です。 ・地域の方々の勉強会への参加やイベントの ZOOM 配信等、積極的な取り組みをしていただきありがとうございます。 <p><u>41</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に対し、多職種からの介護指導の実施、手順書作成し説明した。 ・近隣住民に対して、具体的な取り組みはできなかった。 	

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p><u>42・43 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一体化の体制を構築し、利用者の受け入れを積極的に行う。 	<p><u>42・43 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント、モニタリングの実施 	<p><u>42 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングにより計画目標が達成されている。 <p><u>43 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経管栄養や吸引などの医療が必要な状況下において、看護職より指導が確実にされており、自宅での療養生活が継続できている (運営推進会議コメント) ・ 一体化よろしくお祈いします。 ・ 支援の質向上に向けた取り組みを今後ともよろしくお祈いします。
---------------------------------	--	---	---

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCP は医療機関とも行っていただき、地域 BCP へつなげてください。 ・ 継続的な実施をお願いします 	<p><u>1 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体研修や個別面談時、繰り返し職員への周知 ・ 職員に対し、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた都筑区アクションプランの共有 <p><u>3.4 について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員がビジョン・目標の設定、目標達成のための研修計画の策定及び実施。定期的面談において、達成度を確認する。 ・ オンライン研修の活用 <p><u>10. について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BCP マニュアルに沿って、非常災害時の対応に関する研修及び訓練の実施(年 2 回)

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医との ACP 連携、AD 連携管理にはならず、本人家族の思いも寄り添ってくださることにありがたく思っています。今後ともよろしくお願ひします。 	<u>11～18 について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・合同（看護職/介護職）カンファレンスの継続開催、ツール使用による情報共有の継続により、目標達成に向けて計画作成できる。 ・利用者の状況変化に応じ、適宜看護職から介護職への指示の継続。 ・医療ケアについての研修会開催 <u>27.について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・主治医から説明する予後予測や症状経過などについて確認し、本人家族がどう受け止めや意向についての確認を継続して行う
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介は続けてください。勉強になり、また新たな気づきが生まれます。 ・引き続きよろしくお願ひします 	<u>31 について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議等において、事例紹介し、サービス実施にあたり課題となっていることを情報提供し共有する。それぞれが持っている情報を提供してもらう。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、住みやすい大切な時を過ごせる地域の生活の場ですが、役割の重さに簡単には言えない内容だと個人的には思いますが、 ・2024 年度には高齢者関連施策の包括的な市の計画が策定されますので、今後参考にさせていただければと思います。（「よこはまポジティブエイジング計画」） 	<u>33 について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にむけて、当事業所の果たす役割や看多機サービスの概要について説明会の実施 <u>38 について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・職員に対し、「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた都筑区アクションプラン」の共有を図る
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。 	<u>42～44 について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族が安心して療養生活が送れるよう今後も丁寧なサ 	

		ービス提供の継続ができる。 ・月1回のモニタリングの実施の継続 ・サービス終了時のアンケートの実施の継続
--	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	5	15	0	0	・評価は適切です。 ・引き続き努力してください。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	4	15	1	0	・まだ成長したいと思われていると理解します。 ・引き続き努力してください。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されてい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		一ビスの実践はおおよそできている					ない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0	14	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の中、研修をしつかりされていると思います。 ・中長期的計画が、今後作成できるようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	14	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職の場合はクリニカルラダーを使用し計画を作成。 ・介護職の場合は着目したいケアについて、研修参加を計画しているが中長期的な育成計画はできていない。 					
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・法定研修実施、当日参加できなかった場合には録画を見ている ・手話講座を施設内で実施 ・防災リーダー研修、ユマニチュード研修への出席 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の水ケアサービス学院、ナーシングスキルライトの動画研修の実施 ・伝言ツールを使用し、各職員に研修会の案内のお知らせを出している 					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	6	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容]							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的カンファレンスで情報共有している。参加できなかった職員はカンファレンス記録を確認、チェックしている。 							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	15	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に	5	12	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・心的ストレスや体力を使われているため、注意していき 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	努めている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・職員の働き方に応じて、労働時間への配慮(日勤のみ、夜勤のみ、時短など)をしている。 ・新たな勤務時間の設定を実施				ましょう。 ・人員不足の中、努力されていると思います。	ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	11	2	0	・工夫を重ね、素晴らしいです。 ・新しいツール等の使用により、情報の更新や共有は以前より進歩していると思います。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	5	15	0	0	・同じようなインシデントが繰り返される場合があり、一層の対策共有が必要かと思う点があります。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		を検討が行われている					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	2	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP よろしくお願ひします。皆様の生活もかかっています。 ・BCP も作成され、研修等で当事者間の情報も共有されつつあり、評価できると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	5	14	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		いる					暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	3	14	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 共有されていると感じます。 両職種間で、アセスメントの結果の共有がおおむねなされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	7	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能	4	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価できる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・例えば、洗濯たたみ、テーブル拭きなど本人ができることを計画に組み込んでいる利用者もいる。					た計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	5	15	0	0	・特になし	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	6	14	0	0	・いつもありがとうございます。 ・引き続き努力してください。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・定期的なアセスメントや利用時の状況変化について早期に把握し、泊まり・通い・訪問の変更などの計画を適宜変更している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	12	2	1	・引き続き努力してください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	6	14	0	0	・引き続き努力してください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ	6	12	2	0	・努力は実っています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が 行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者の状況に応じて、介護職と看護 職が一体となり柔軟に役割分担が行われ ている					かけた役割分担」について、充足 度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこ とが重要です
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている	8	11	1	0	・カンファレンスなどによ り、対応方法など共有できて いる。	✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	6	13	0	0	・特になし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	16	0	0	・ 特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 包括サービスであること、居宅サービスとの違い、加算についてなど説明書などを用いている。 ・ かかる暫定利用料、高額介護サービス等の用紙を渡し説明している					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	15	0	0	・ 特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 毎月の看多機計画の確認、モニタリングを実施し、利用者や家族の同意を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、	6	14	0	0	・ 特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	[具体的な状況・取組内容] ・ 図解や手順書を作成し、説明をしている。家族等が処置方法の獲得ができてい るか看護師が確認している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	4	16	0	0	・ 特になし	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 利用者の重度化や終末期において、適 宜、本人、家族と相談し、サービス内容 の変更について相談支援を行っている					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	3	17	0	0	・ 特になし	✓ 「将来に発生し得る様々なリス クを想定した上での、対応策の検 討と共有」について、充足度を評 価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 在宅生活の継続が可能かどうか、適宜 相談支援を行い、施設入所への情報提供、 手続き等の支援を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	9	11	0	0	・ 特になし	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視 点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし て残している」場合は「よくでき ている」
		[具体的な状況・取組内容] ・ 終末期において、生活状況が変わる頃、 治療が変更になる頃など、時期を見計ら い、主治医からの予後予測についての説					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		明、療養先の確認、本人家族の意思確認、 意思決定支援を行い、内容を記録してい る					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	7	13	0	0	・ 充分ですが、人手不足は大丈夫ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	7	13	0	0	・ 特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携	11	7	0	0		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている					<ul style="list-style-type: none"> ・よくされていると思います。 ・オンコール体制の構築で、急変時の対応におおむね問題ないと思う。 	築」について、充足度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	5	12	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なく行われていると思う。 ・多職種連携は大変だと思いますが、連携ができると、その人らしい生活が支援できると思います。事例紹介や検討はたくさん行い、提案ができることはとても良いことだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	11	7	0	2	・情報がオープンに開示され、問題ないかと思う。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・報告書を在宅事業部のホームページに掲載しており、だれでも見ることができる。 ・職員に対しては伝言にて実施されたことを伝えている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	13	4	2	・地域住民向けの講演等が行われており、問題ないかと思う。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・嚔下、誤嚔の予防の講演会を行った					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	象とした訪問看護を積極的に実施している	[具体的な状況・取組内容] 指定なし					対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	15	5	0	0	・素晴らしいと思います。 ・積極的に受け入れていて、問題ないと思う。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れるこ	11	8	1	0	・大切な医療行為に関係するため、感謝しています。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	とができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・実際に受け入れており、体制を整えている ・呼吸器メーカーに来てもらい、勉強会を行っている				・積極的に受け入れ、勉強会等で知識も向上し、現状で問題ない。	✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	16	4	0	0	・自宅での看取りに近い対応です。 ・現状で問題ないと思われる。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	6	11	2	1	・問題なくできていると思う。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	11	9	0	0	・問題なくできていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・限定なく、地域に対してサービス提供している					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	10	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・制度への意見、改善案、実践されているので、言えることが多くあると感じます。 ・問題なくできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・エレベーターのないマンションの送迎の対応が困難であることから、看多機登録に至らないことや、訪問入浴実施にあたって、委託料が看多機からの出費となるため、利用者からの希望があっても回数が増やせないことを提起。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	11	6	2	・問題なくできている。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・家族に対し、多職種からの介護指導の実施、手順書作成し説明する					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている (10)</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (9)</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (0)</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない (0)</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・毎月計画実施についての評価、計画見直しを行い、利用者およびご家族に確認して頂いている。</p>	・おおむね問題ないと思う。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている (13)</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (6)</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (0)</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない (0)</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・痰の吸引、経管栄養注入などの医療ケアが必要となった場合、数回にわたり利用者およびご家族に指導及び支援・ケアを実施している。困ったときなど緊急の対応も実施している。</p>	・おおむね問題ないと思う。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (12) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (7) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (0) 4. 利用者の1/3には満たない (0) 5. 看取りの希望者はいない (0) <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者およびその家族に主治医と共に十分な説明を行い、意思決定支援をし、その意思に沿ってケアを実施している。その後、ご家族から良好な評価を頂いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね問題ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」